



奈良県感染症情報

令和5年 第5週(1月30日～2月5日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 梅毒が増加しています！
- 1月報(月単位報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況)

インフルエンザ注意報発令中です！

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	19.42	(13.93)	↑↑↑	↑	↑↑↑	↑↑↑
2	感染性胃腸炎	6.35	(4.97)	↑	↗	↑	→
3	A群溶連菌咽頭炎	0.47	(0.35)	↑	↑	↑	→
4	突発性発しん	0.24	(0.21)	→	↑	↘	↓
5	RSウイルス感染症	0.21	(0.12)	↑↑↑	↑↑↑	↑↑↑	↓

発生状況: 大流行 流行 やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 ↑↑急増、↑増加、↗やや増加、→横ばい、↘やや減少、↓減少

◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第5週の新型コロナウイルス新規感染者数は3251名と第4週の4713名より減少していますが、高い値で推移しています。県民のみなさまには、基本的な感染予防対策の徹底を改めてお願いいたします。

◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

インフルエンザの定点あたり報告数が増加しています。特に、中和保健所管内西部地域では、定点あたり報告数が、警報レベルである30を上回る38.70となっています。空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に、乾燥しやすい室内では加湿器などを使って適切な湿度(50～60%)を保つことも、インフルエンザの予防に効果的です。

❖ 梅毒が増加しています！ ❖

「梅毒(ばいどく)」は、梅毒トレポネーマ(細菌)による感染症です。

近年、全国で「梅毒」の感染者が急増しており、奈良県でも報告者数は増加傾向にあります。

- 梅毒は、主に性的接触によって感染し、放置すると、心臓や脳に合併症を起こして死に至ることもあります。
- 女性の20代～30代の感染増加により、「先天性梅毒」の報告も見られます。妊娠中の感染は胎児に大きく影響し、死産や早産、生まれてくる子供の神経や骨などに異常をきたすことがあります。
- 予防には、コンドームの使用が大切です。ただし、キスやオーラルセックス、皮膚や粘膜の接触等で感染することもあります。不特定多数との性交渉は感染リスクが大きく危険です。
- 感染初期に、性器や口の中にできる痛みやかゆみのない「しこり」が見られることがあります。症状があるときや、不安なときは、早めに近くの医療機関や保健所に相談しましょう。早期診断と治療が完治につながります。



出典: NESID
 (感染症サーベイランスシステム)
 (2022年の値は令和5年2月7日時点の暫定値)

詳しくは「厚生労働省:梅毒」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekakaku-kansenshou/seikansenshou/syphilis.html

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 5 年 第 5 週 1 月 30 日 ~ 5 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	6	
インフルエンザ	1068 (19.42)	156 (11.14)	282 (20.14)	168 (15.27)	387 (38.70)	75 (12.50)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	3	
RSウイルス感染症	7 (0.21)	2 (0.22)	1 (0.11)	4 (0.57)			
咽頭結膜熱	7 (0.21)	3 (0.33)	1 (0.11)	1 (0.14)	2 (0.33)		
A群溶連菌咽頭炎	16 (0.47)	2 (0.22)	4 (0.44)	2 (0.29)	8 (1.33)		
感染性胃腸炎	216 (6.35)	61 (6.78)	43 (4.78)	50 (7.14)	56 (9.33)	6 (2.00)	
水痘	3 (0.09)	1 (0.11)		2 (0.29)			
手足口病	2 (0.06)		2 (0.22)				
伝染性紅斑	2 (0.06)				2 (0.33)		
突発性発しん	8 (0.24)	4 (0.44)		3 (0.43)	1 (0.17)		
ヘルパンギーナ	2 (0.06)		1 (0.11)		1 (0.17)		
流行性耳下腺炎	1 (0.03)		1 (0.11)				
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	5 (0.50)	1 (0.33)	2 (0.67)	2 (1.00)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎	3 (0.50)			3 (3.00)			
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(奈良市1、郡山1、中和1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	急性脳炎1件(中和1) 梅毒1件(奈良市1)

❖ 第5週のトピックス ❖

◆梅毒が拡大しています！(政府広報オンラインHP)

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201712/3.html>

◆我が国における新型コロナワクチン導入後のCOVID-19の血清疫学調査
(国立感染症研究所HP)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/basic-science/epidemi/11783-epi-2023-01.html>

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、
旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

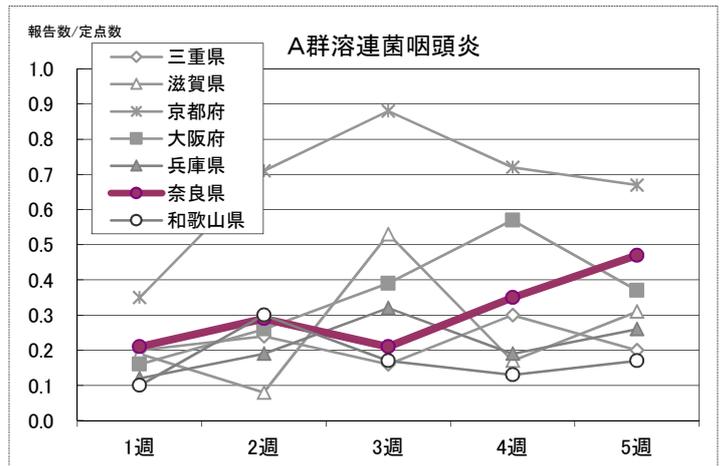
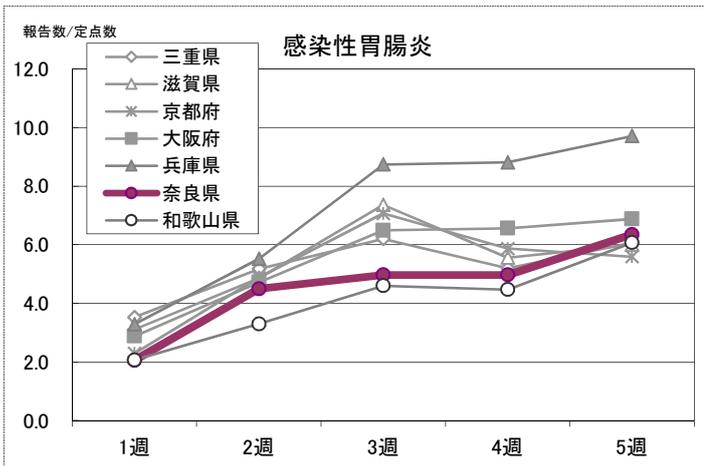
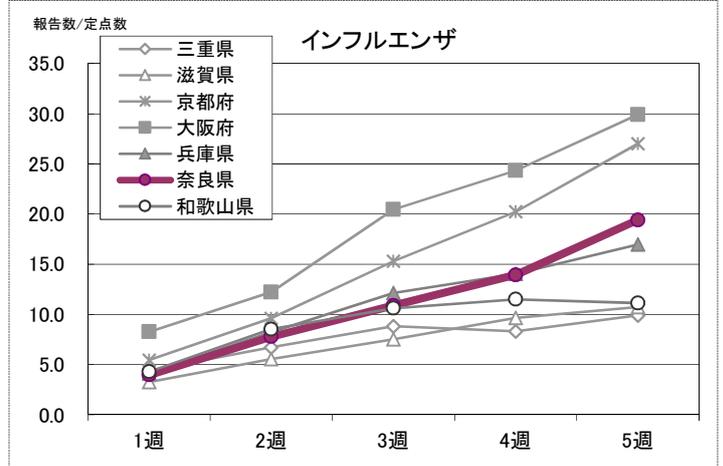
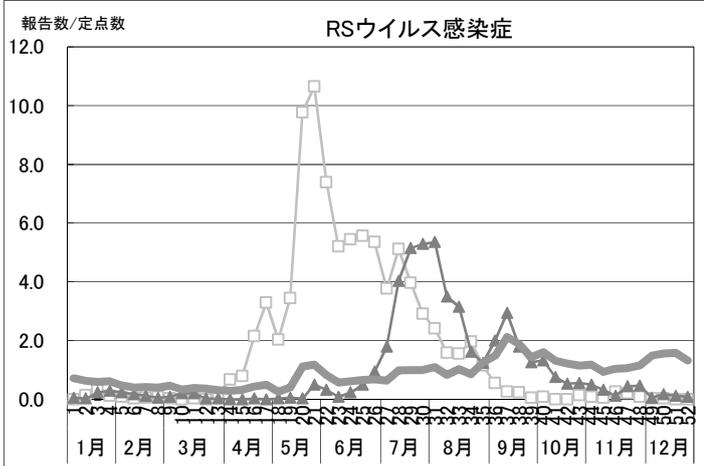
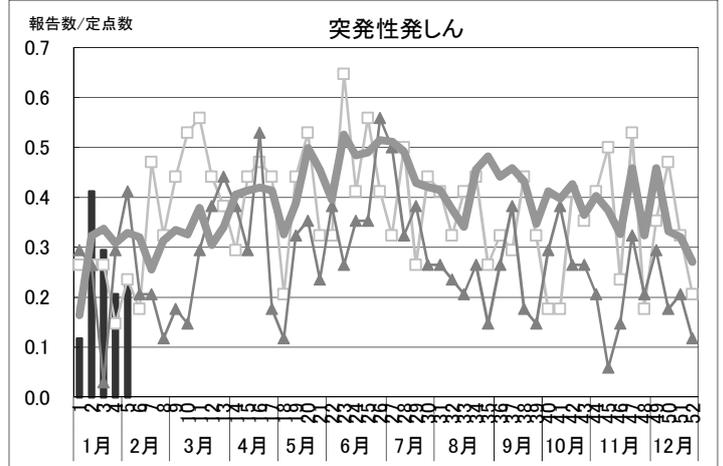
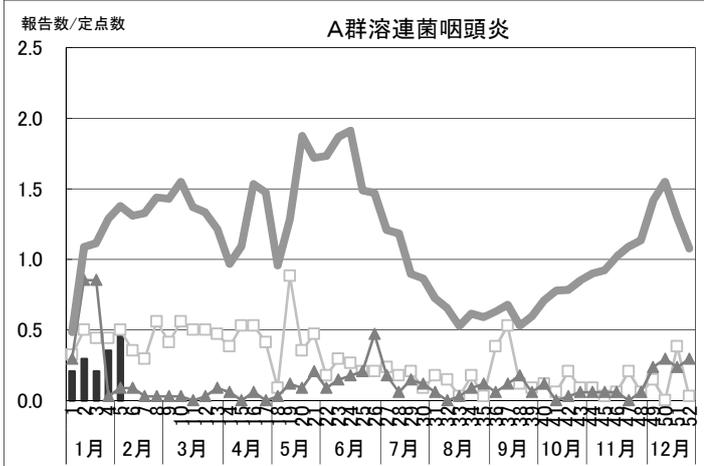
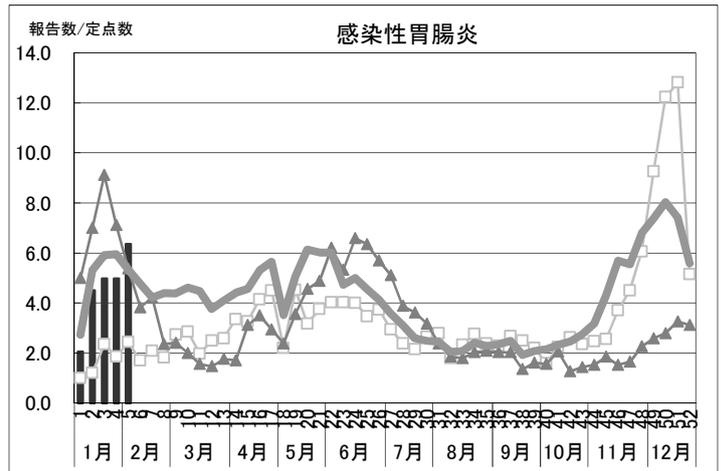
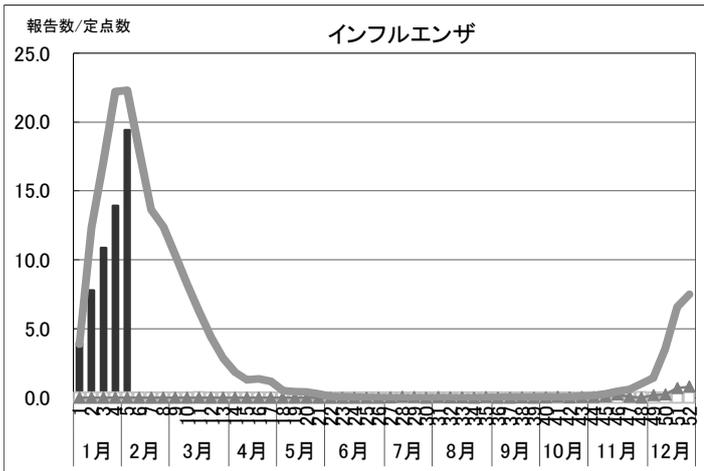
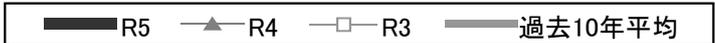
※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男	1	3	14	19	46	37	73	59	44	49	25	135	26	9	14	17	4	2	1	1	579	1677
	女	3	5	8	12	34	30	64	58	49	41	21	79	11	14	29	18	3	6	2	2	489	1401
RSウイルス感染症	男	3	1																			4	10
	女	1		1	1																	3	6
咽頭結膜熱	男			3		2	1															6	25
	女		1																			1	10
A群溶連菌咽頭炎	男				3	2	1	2	3	1												12	35
	女			1	1	1								1								4	17
感染性胃腸炎	男	2	6	20	15	18	15	6	10	3	5	1	6	1	5							113	417
	女	2	9	18	13	8	14	7	5	5	4	3	5	1	9							103	360
水痘	男							1					1									2	6
	女						1															1	4
手足口病	男																						25
	女			1	1																	2	16
伝染性紅斑	男			1	1																	2	2
	女																						
突発性発しん	男			4																		4	22
	女		1	3																		4	21
ヘルパンギーナ	男						1															1	3
	女		1																			1	3
流行性耳下腺炎	男													1								1	2
	女																						
急性出血性結膜炎	男																						
	女															1	2					3	10
流行性角結膜炎	男																					2	6
	女													1									
細菌性髄膜炎	男																						2
	女																						
無菌性髄膜炎	男											1										1	1
	女								1								1					2	2
マイコプラズマ肺炎	男																						
	女																						
クラミジア肺炎	男																						
	女																						1
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						
	女																						

◆注目疾患の動向◆ 全て定点当たり報告数



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 5 年 1 月

性感染症定点数	奈良県		中部		南部	上段：報告数 (下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数													累計は、2023年1月からの累計						
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計	
性器クラミジア感染症	17 (1.55)	6 (2.00)	2 (0.67)	2 (1.00)	7 (2.33)	男女							4	1	1					1			7	7	
性器ヘルペス	6 (0.55)	2 (0.67)		2 (1.00)	2 (0.67)	男女						1	2							1		1	2	2	
尖圭コンジローマ	1 (0.09)		1 (0.33)			男女									1								1	1	
淋菌感染症	6 (0.55)	2 (0.67)	2 (0.67)	1 (0.50)	1 (0.33)	男女						2				1		1	2				6	6	
基幹定点数	6	1	2	1	1	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	44 (7.33)	22 (22.00)	15 (7.50)	5 (5.00)	2 (2.00)	男女	2								1		1		1	1	1	21	28	28	
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2 (0.33)		2 (1.00)			男女	1											1				1	13	16	
薬剤耐性緑膿菌感染症						男女																			

❖ 対象疾患の動向 ❖ 全て報告数

